

好きなことや得意なことに磨きをかけよう。
それがきつと、武器になるから。



教育学部OB

卒業生からの

挑戦したいこと、学びたいことを躊躇せず、
濃密な4年間にしてください。



医学部OG

メッセージ

何か魅かれるものを感じたなら、
迷わずそこへ進むべき。道は必ず拓けます！



工学部OB

Message
from
Alumni

大切なのは、「どんな」4年間を過ごすか。
とにかく目の前にあることに全力で取り組んで！



生命環境学部OG

南アルプス市立白根巨摩中学校教諭 鷹野 敦貴 さん

2012年 教育人間科学部学校教育課程教科教育コース美術教育専修卒業

専門的な学びを深め、視野も広がった学生時代

美術と子どもに関わっていきいたいという思いがあり、その両方ができる教員を目指そうと考えて進学しました。

美術専攻では、絵画や彫刻、鍍金などの製作技術から、美術史、美術教育まで幅広く学ぶことができます。キャラクターの濃い先生方が揃っていて、どの授業もおもしろかったですね。また、各地で開催されるアートイベントなどに関わっておられる先生も多く、よく誘っていただきました。アート製作に参加したり、スタッフとして働いたりするなかで、他校の先生や学生とも交流でき、貴重な経験になりました。

美術を通して教えたいのは、真剣に遊ぶおもしろさ

中学校の教員になり、8年目を終えようとしています。この間、授業中やさまざまな行事で、一心不乱に懸命に何かに取り組む子ども達の姿を目にするたび、幸せを実感してきました。今年1月には初めて受け持った子ども達が成人式を迎え、立派に成長した姿に接して感無量になりました。

子ども達には、クリエイティブに物事に取組める人になって欲しいと願っており、そのためには美術の授業を通じて真剣に遊ぶおもしろさを伝えていきたいと思っています。

山梨大学医学部附属病院 橋本 瑞季 さん

2017年 医学部看護科卒業
2019年 大学院医工農学総合教育部修士課程看護学専攻母性領域入学

「一緒に頑張ろうね」と言える存在になりたい

アトピー性皮膚炎だったため、幼い頃から病院に行く機会が多くありました。辛い時に看護婦さんの「一緒に頑張ろうね」の声に救われた経験から、自分も「一緒に頑張ろう」と言える存在になりたいと考えるようになり、4年間の学部課程で看護師と保健師、加えて助産師の資格も取得できることに魅力を感じて、山梨大学に進学しました。

大学での授業や病院での実習など、忙しいなかでも、バドミントン部の活動に打ち込み、医学科の方々と交流ができて、楽しく充実した時間を過ごすことができました。

新たな生命の誕生に立ち会える幸せな職場で奮闘中

卒業後は、医学部附属病院に助産師として勤務しています。お産や妊婦さんのケア、助産外来など、年々仕事の幅が広がり責任も重くなってきています。生命の誕生に立ち会える幸せな仕事である反面、お産にはリスクも伴うため、辛い場面でも患者さんにどう寄り添うかが、今後の課題です。

昨春大学院に進学し、働きながら学んでいます。視野を広げ知識を蓄えて、アドバイスの引き出しを豊富に持って「一緒に頑張ろう」と言える医療人になりたいと思います。

ソフトバンク株式会社 一ノ瀬 拓海 さん

2017年 工学部情報メカトロニクス工学科卒業
2019年 大学院医工農学総合教育部修士課程工学専攻修了

研究開発の醍醐味を味わった6年間

電気、機械、情報の授業をまんべんなく受けるなかで情報系への興味が膨らみ、3年次の研究室配属では、画像処理や画像認識を専門とする小谷・渡邊研究室に入りました。卒業研究のテーマを決めるタイミングで、研究室全体で果実の輸出を阻む特定の害虫を見つける装置の開発に挑むことになり、桃を全方位から撮影し、画像処理をして卵を見つける装置を製作。大学院でさらに研究を進め、画像から害虫を検出するAIを構築するなど、研究の楽しさ、おもしろさを味わえた、意義ある学生生活になりました。

最先端のテクノロジーに携わる、刺激的な毎日

現在は、ソフトバンク株式会社に勤務し、スマートフォンなど弊社の製品が市場でどのように使われているかを調べ、集積し、解析する品質部のデータチームで働いています。入社1年目にして、ある分野のデータを分類するAIを構築するチャンスをいただき、取り組むことができました。一定の成果が出始めており、手ごたえとやりがいを感じながら、日々業務に向かっています。今後は、開発中のAIを会社全体のシステムに組み込めるレベルに育てていきたいと思っています。

八千代エンジニアリング株式会社 岡本 佳子 さん

2016年 生命環境学部環境科学科卒業

多様な視点から環境を考察した大学での学び

好きな動植物に加え、それらを取り巻く環境についても広く学べるのが決め手となり、山梨大学への進学を決めました。一期生だったこともあり、先生との距離がとても近く、親身なご指導をいただきました。特に、ゼミの島弘幸先生と何時間も議論を重ねたり、実験にお付き合いいただいたりした時間は、今でも鮮明に覚えています。また、ダブルタッチのサークルや居酒屋でのアルバイトなど、すべてに全力で取り組んだ、かけがえのない時間でした。

人と自然のより良い共生のカタチを求めて

人と自然との懸け橋になりたいとの思いから、八千代エンジニアリング株式会社に就職し、大規模なインフラなどを整備する際に、自然環境や生活環境にどのような影響があるのかを調べ、どういった保全措置を取ったらよいのかを考える、環境アセスメントを担当してきました。生活に必要なものを、いかにしてみんなにとってより良いものにするかを探っていくことが、この仕事の難しさであり面白さでもあると感じています。これからも、人と自然が共生できる社会の実現に向け、力を尽くしていきたいと思っています。